

# 定例公安委員会の開催状況について

令和2年7月30日（木）に、第21回定例山形県公安委員会を開催し、議事の概要は次のとおりでした。

## 1 8月の行事予定

8月の行事予定について報告があった。

## 2 令和2年度第1四半期における監察実施状況等について

令和2年度の第1四半期における監察実施状況等についての報告があった。

### 委員のコメント

- 最近、非違事案が多いので心を痛めている。きちんと調査し事案に応じて処分しているという姿勢は感じるが、中には外部からの報告で初めて発覚した事案もあり、県民に対して残念な印象を与える。規範意識を高めるよう教養を行ってほしい。
- 公安委員会の一番大きな役割は監察だと思う。3年間くらい非違事案のなかった時期があったが、一昨年の酒気帯び運転以来、続けて発生している。知らないところでこういう問題が起きているのでコミュニケーションが大事である。警察学校における教養は是非行ってほしい。
- 非違事案への対処は素早いと思う。ただし、通達等を素早く発出しても、それだけではなかなか伝わらない。どういう形にすれば一番伝わるかを考えて工夫してほしい。具体的な事例をいかして他の警察官に伝え、行動の規範にしてほしい。

## 3 令和2年上半期における児童虐待事案の取扱状況について

令和2年の上半期における児童虐待事案の取扱状況、今後の取組等について報告があった。

### 委員のコメント

- ネグレクトが通告児童数の1割を占めるのというのは意外だった。現場対応力を上げる、子供の安全確保に努める、親にも知識を与えるという点について努力してほしい。
- 児童虐待が増えているというのは全国的な現象であり、面前DVが増加しているというのも全国と同様と思う。世の中がリモート勤務に移行するのに伴い、父親が家庭にいる時間が長いので、子供に対する身体的虐待も増えることを心配している。夫婦の心理的な葛藤が児童の心理的虐待に繋がる可能性もあると思う。
- 通告件数が増えているのは、周囲の目があるということであり、必ずしも悪いことではないと思う。児童相談所の役割と警察の役割の違いなどを超えて連携してやっていくことが大事だ。ネグレクトに関しては、決して多いと驚く数字では

ない。母子家庭等でネグレクトと思われるものが多数存在しており、家庭環境が厳しくなればなるほど、数値に出てこないネグレクトはあると思うので、注意して見なければならぬ。デートDVについても若い人に教養していくことが大事だ。

#### 4 令和2年上半期刑法犯の認知・検挙状況（暫定値）について

令和2年上半期における刑法犯の認知・検挙状況（暫定値）について報告があった。

##### 委員のコメント

- 全国第1位の検挙率を評価する。この成績を維持できるように努力してほしい。
- 県外の窃盗犯を多数検挙したことが検挙率上昇に繋がったものと思うが、県民からすれば、刑法犯検挙率が高いという事実は安全安心を身近に感じられる要因である。この事実を広報していただきたい。
- 高い検挙率はPRしてほしい。それが抑止にもつながっていくのではないかと。是非、この成績を継続してほしい。

#### 5 人質立てこもり等事件捜査訓練の実施結果について

人質立てこもり等事件捜査訓練の実施結果について報告があった。

##### 委員のコメント

- 新型コロナウイルス対策まで配慮して、この種事案に対応するのは大変だと思うが、いろいろな状況を設定しながら訓練を進めてほしい。
- 重要なのは各署や執行隊との連携であり、刻々と変わる状況に如何に対応するかだ。ネゴシエーターの訓練も含めて、こういった訓練を数多く積んでほしい。
- ブラインド訓練は大変だと思う。現場が変わる訓練はなかなかできないと思うが、現場を踏まないと頭で考えるようには上手くいかない。ブラインド訓練をやることによって問題点が見えてくると思うので、今回の成果を次につなげてほしい。

#### 6 令和2年上半期の交通情勢について

令和2年上半期の交通事故発生状況や交通事故抑止活動推進状況等、交通情勢について報告があった。

##### 委員のコメント

- 今年に入ってから発生件数、負傷者とも少なく抑えられている。高齢者の死者が多く、対策が喫緊の課題だと思う。また、高齢者は足の筋肉が衰えるので、アクセルを離してブレーキを踏んだつもりが踏んでいないこともあるし、認知症の影響でブレーキが分からなくなることもあるので、講習の際などに『咄嗟に踏むブレーキは内側ですよ』と教えてあげることがやってほしい。
- 新型コロナウイルス対策で事故総数が減ったが、速度違反が増えているのは全国と同じ傾向と思う。交通量が減った分、速度を上げるドライバーがいるので引き続き取締りを行ってほしい。また、歩行者横断時の一時停止率についても全国順位が上がるよう、継続して取締りを行ってほしい。

- 飲酒運転、横断歩行者妨害、一時不停止など、これらの違反をきちんと検挙すると事故防止に直結するので、継続してやってほしい。運転免許を持っている人がだんだん高齢化していく一方で、公共交通機関が衰退していくというのはこれまで経験したことがない事態であり、運転だけでなく、自転車のマナーや横断のマナーについても様々なところで話をしてほしい。また、子供たちには、横断時に手を挙げて横断の意思表示をするよう指導してほしい。

## 7 幹線道路における合同交通指導取締りの実施結果について

本年7月19日に実施した、幹線道路における合同交通指導取締りの結果について報告があった。

### 委員のコメント

- 公開取締りだったが、時速100キロを超える速度違反車両が3台もあったのは興味深い。逃走車を追跡して検挙したことも、マスコミを通じて県警の姿勢を示すことに役立った。他の地域でもこうした取締りを行ってほしい。
- ヘリを含めた合同取締りはこれまでもやっていたと思うが、今回はヘリの活躍も見られ良かったと思う。今後も継続してほしい。
- 時速100キロを超える違反など、公開取締りでありながら最高速度違反として33件もの検挙があったことに驚く。県外ナンバー車両の検挙もあったとのことであり、山形県は速度違反に厳しいという印象を与えられるよう継続して実施してほしい。

## 8 7月28日から的大雨に関する警察の対応

本年7月28日から的大雨に関する被害状況、警察の対応等について報告があった。

### 委員のコメント

- 日頃の訓練がいきたものと思う。今回は最上川の中流が氾濫したが、上流や下流も氾濫する可能性があった。雨の量だけでなく、台風のように風が加わるとインフラが駄目になるかもしれない、そういった更にひどい状況も想定して準備をしてほしい。
- 球磨川の氾濫の教訓があったのかもしれないが、人的な被害が無かったのは不幸中の幸いといえる。災害状況を職員が映像送信する取組も機能したと聞いているが、一般の方が撮影した映像を集めている府県もあるようなので参考にしてほしい。
- 一昨年の反省を踏まえて体制や装備を整備したことがいきたと感じる。人的な被害が無かったのは、最上川の堤防が決壊しなかったことや早期の避難呼びかけにより、避難まで時間的な余裕が得られたからではないか。